



地域医療連携室だより Vol.151



発行元 地方独立行政法人
市立大津市民病院 地域医療連携室
住所 〒520-0804
滋賀県大津市本宮二丁目9番9号
電話 077-526-8192
FAX 077-522-0192 発行日:2021年12月1日

市立大津市民病院 検索

だより内に が 5ヶ所登場しています。ぜひ探してみてください。疫病退散。

『コロナ禍の化学療法部』

化学療法部 診療部長: ますざわ あきら 明



全世界に広まった新型コロナウイルスは我々の日常生活を一変させました。当院は滋賀県下で唯一の第一種感染症指定医療機関であることから、救急外来に発熱外来棟（感染症 ER）を増築し、ICU、救急病棟、感染症病棟をコロナ患者対応病棟に組み直し、大津市とその近隣の新型コロナウイルス感染患者さんを積極的に受け入れる体制を整えてきました。

一方、当院は滋賀県地域がん診療連携支援病院でもありますので、このコロナ禍でもがん診療を継続していく必要があります。当院の化学療法部は外来部門でありながら本館5階病棟にあり、4床部屋4室の合計16床で運営しています。毎日十数名の患者さんが利用されており、入院病棟と同じような環境で数時間過ごしています。もし患者さんが新型コロナウイルス感染に気づかないまま化学療法部を利用していたら、同室者や担当した医療者、さらに他の治療室の利用者まで感染を拡げてしまう可能性があります。化学療法部がクラスターとなれば定期的な化学療法を受けている他の患者さんらの治療も中断を余儀なくされてしまうかも知れません。抗がん剤治療などで免疫力が低下しているがん患者さんが新型コロナウイルスに感染すると重症化すると言われ、WHOの報告では併存疾患のない方のコロナ感染後死亡率は1.4%だったのに対して、がん患者は7.6%だったと報告しています。

このような事にならないように化学療法部では十分な対策を講じる必要がありました。まず化学療法部の職員は県外への外出禁止、家族以外との会食禁止、アルコール消毒に加えてフェイスマスクの着用などの感染防御を1年以上継続しております。患者さんにも化学療法部に入室する際は検温やアルコール消毒を確実に実施していただき、患者さんの治療中はお家族の治療室内への入室はご遠慮いただきました。また化学療法部を利用する2週間前から、非常事態宣言が出されている県外への外出や家族以外との会食を控えていただくこともお願いしました。化学療法部を利用される患者さんの多くは進行がんの方ですので、体の動くうちにゴルフに行きたい、孫と会いたいと切望されることもありました。そのような場合、外出する度に治療延期しては治療効果も期待できませんので、外出後2週間以内に化学療法部をご利用される方のために1日1名だけ別室で治療を受けていただけるように個室を用意しました。この対応に利用された方からは大変喜んでいただきました。



お部屋の雰囲気



患者様入室時の検温



患者様自身の手指消毒



治療終了後の環境清掃
(お一人終了毎に実施)



Ns コールも
しっかりと



輸液ポンプも例外では
ありません

化学療法部のお知らせ

コロナ流行期に県外へお出かけになる方へ



ご協力お願いします

- ①旅行・帰省・出張など予定が決まっている場合は、早めに主治医にご相談ください。
- ②病状によっては、次回治療予定日を延期することがあります。
- ③ご家族が県外にお出かけされた場合、帰省後2週間は付きそいをご遠慮頂きます。
- ④「発熱」「咳」「倦怠感」「味覚・嗅覚異常」などの症状があれば早めに電話でご連絡ください。
- ⑤万一、コロナ濃厚接触者となった場合は、保健所の指示に従ってください。陰性が確認できるまで化学療法は延期となります。



2020年07月29日発行 化学療法部



こうした取り組みを今後も継続しつつ、いつか元の世界に戻れることを信じて、化学療法部職員一同これからも安全な化学療法を提供できるように努力していきます



化学療法を受けていただく患者様にお渡ししているA4サイズのパフレットです。

当院に就職してからの14年間のあゆみ

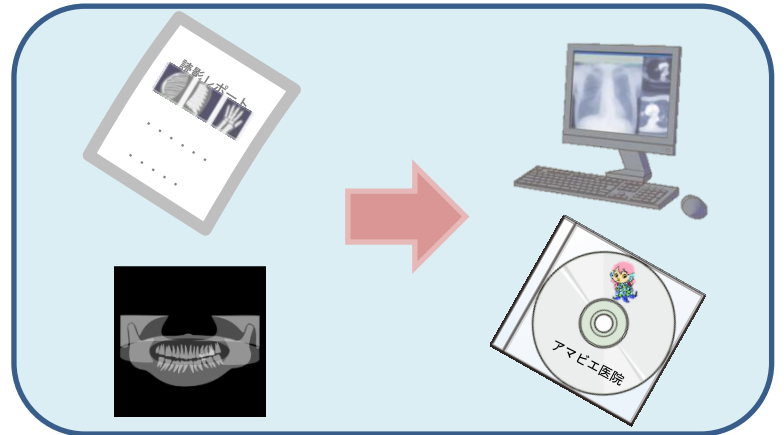


放射線科 診療部長：市場 功文

大津医療圏を支える関係者の皆様、毎日の診療、大変お疲れ様です。

小生は2007年9月より非常勤医員として放射線科に入職いたしました。2013年より診療部長を拝命し、現在に至ります。これまでの当院での放射線科の歩みを簡単に振り返ってみたいと存じます。

当初は青木先生、田淵先生と私の3人体制で放射線科を切り盛りしておりました。ちょうど紙ベースの読影レポートからPACSを用いたモニター診断に切り替わり、画像データもフィルムベースからCDへと変化をしていきました。当院の読影システムは非常に洗練されていて、今では当たり前となっている3D画像作成が読影端末上で作成できました（通常は別の端末で作成します）。



2012年からは3T MRI（Philips社製Ingenia）が当院に導入されました。当時の最新機器だったこともあり、連日のように他施設からの見学がありました。この装置は周辺に及ぼす磁場強度が高いために、1.5T装置よりも広いスペースが必要であったため、隣にあったトイレが無くなってしまったことが個人的には残念でした（笑）。

2013年に私は診療部長に就任し、青木先生は副院長職に専念され、私は実務面を担当致しました。2014年からは京都大学放射線治療科の全面的なバックアップにより、放射線治療が開始されました。年間100例の新規患者の獲得を目標にしておりましたが、お陰様で開始以来、毎年この目標を達成出来ております。これも地域医療に携わる諸先生方のご協力なくしてはあり得ないことです。この場を借りて御礼申し上げます。

2019年3月に青木先生が定年退職され、以後は私が放射線部の診療部長も兼任することとなり、管理業務も行うことになりました。この時期に、当院の体制が揺れる出来事が続いて発生しました。当院の体制は必ずしも完全ではありませんでしたが、院内の諸先生方が知恵を絞って必死に対応してきた過程を目の当たりにしてきた者の一人として、当院の職員であることを誇りに思っております。放射線科としては、スマートフォンを用いた至急読影で救急診療を支えることとなりました。

2019年末からのコロナ禍では、当院はCOVID-19患者の治療センターとして機能し、2020年末には感染症ER



ユニットの設置もなされました。感染症ERユニット内にはCTが設置され、一時期は本院CTよりも検査件数を上回る時期もありました。院内での感染拡大防止に大いに役立ったシステムだったと思います。

本年からは新理事長が就任され、当院の発展が益々期待されます。皆様のご期待に添えられるよう、これからも精進して参りますので、今後とも市立大津市民病院をご愛顧下さいますよう、お願い申し上げます。



こんにちは！外来部看護師です！！

今回は、私達の取り組みを紹介させていただきます。

私達は、患者様に安心して受診して頂くために、感染予防対策を実施し、その取り組み内容について、病院の廊下や、病院のホームページ（新型コロナウイルス感染症に関するお知らせのページより見ることができます）にてお知らせをしています。ここでは、その一部をご紹介します。是非一度ホームページ、当院2階中央処置室前の廊下をご覧ください。また、患者様にもお伝え頂ければ幸いです。



あなたを守りたい

「このコロナ禍のなか、市民病院に来院されるすべての方々を守りたい」と、看護師やその他の職員が一丸となった私たちのコンセプトです。



新型コロナウイルスからあなたを守りたい



看護師の取り組み

看護師1人あたり1ヶ月に500ml使用しています

距離を置いて休憩中

毎日、体調確認を行い検温表に記載してから勤務につきます

現在はメール会議やオンデマンド研修を中心に密になる環境を避けています

出勤時検温

職員感染研修会の様子

【LET's 感染対策 コロナに負けるな！】

2階中央処置室前の廊下に看護師の取り組みを掲示しています。

患者さんから励ましのお言葉をいただきました

2021年7月より延べ750人の患者様にアンケートへのご協力を賜りました。ご協力いただき感謝申し上げます。医療従事者への心温まるメッセージをいただきましたのでご紹介させていただきます。

患者さんからの、励ましのお言葉は、職員一同にとってとても力になります！！

頑張ってください

大変なにご苦労様です

入院していましたが病院はもちろんスタッフのコロナに対して万全だと思います

100%防げないと自覚しているつもりなので努力を続けるしかないと思います。医療従事者の努力は比にならないと感謝しています

市民病院は安心して受診できているので大変だともいますががんばってください

医療従事者の方には感謝しありません。お疲れがでませように

また感染者が増えてきている不安がありますが、その中で医療従事者の皆様が力を尽くしてくださっていることは深く感謝しております

医療従事者には危険な職場となっております本当にありがとう

いつもありがとうございます。我が家はみんな医療従事者でまさに現場で働いています。家族としては毎日いろいろ心配ですが、皆様も体に気をつけてください。がんばっておられますがこれからもがんばって下さい

ありがとうございます

2年目研修医note

うちなか まさき
内中 将貴



昨年九州より当院へ赴任して以降、大津の皆様には本当にお世話になり、心より感謝致しております。この一年、湖国の医療に貢献すべく、微力ながら虚仮の一心で尽力して参りました。一人でも笑顔になれた方がいらっしやれば、之に優る喜びはございません。

“scientia potentia est”は英国経験論の先駆者である F. Bacon の思想を体現する金言として名高いですが、知性の光で事象を照らし、正確な理解を通して解決の糸口を探ることの重要性は今尚色褪せるものではございません。病の理という医の淵源へと連なる長橋を征し、患者様と医療者の暗闇を照らして共に戦っていただけるよう、孜々として倦まず業の研鑽と人格の陶冶に勉めてゆく所存でございますので、何卒、今後とも御指導御鞭撻の程、どうか宜しくお願い申し上げます。



Merry Christmas



① MSW アイコさん
作・画 まきろん

②

定時ー
スクツ
じゃつ、お先に失礼します！

③

いいわね、行ってらっしゃい
あんなに急いで、もしかクリスマスデート!?

④

何ヶ月も待つた超激レアお取り寄せスイーツやつと届いた
色気より食い気で一年を締めくくるアイコさんなのでした
シマワセ

クイズの答え： 1 ページ目 写真上段右/2 ページ目 0D イラスト/3 ページ目 左下/4 ページ目 2年目研修医note トナカイのベル/MSW アイコさんタイトル内 ※マスクは外して描いています。

令和3年度市立大津市民病院地域医療連携の会 開催報告

令和3年度 市立大津市民病院地域医療連携の会を下記の要領で開催いたしました。

- 日時：令和3年11月6日(土) 15:30~17:00
- 開催方法：Microsoft Teams を使用したWeb 開催
(当院の職員は市立大津市民病院9階 ABC 会議室に集合)
- 内容：1. 講演(講師：北脇 城理事長) 2. 診療科紹介
- 参加人数：当院/33名、院外/21名



開会の挨拶には、大津市医師会 会長 重永 博先生をお招きしお話しいただきました。

講演では、今年度4月から就任した当院の北脇 城理事長が、「地域医療を支える中核病院としての当院の運営方針~COVID-19 対応の現況をふまえて~」と題してお話しをさせていただきました。

診療科紹介では、21 診療科、19 名の医師が限られた時間の中でその科のアピールポイントについてお話しさせていただきました。

私たちは今後も「信頼の絆でつながる、市民とともに歩む健康医療拠点」という当院の病院理念を実現させるべく地域の医療機関の皆様との連携を大切にしていきたいと存じます。

今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

